



お知らせ

ザリガニウォッチング2

日時 10月16日(日) 10:00~12:00
 集合 温根内ビジターセンター
 定員 15名
 参加 無料 申込要
 TEL 0154-65-2323

釧路湿原に生息する絶滅危惧種「ニホンザリガニ」の生態を知り、生息環境を観察していきます！

新ビジターセンター

ただいま建設中で来年の春にオープンを予定しています。だいができてきましたね。完成までの間、皆様には仮設の小さなセンターとトイレをご利用いただいておりますが、ぜひ新しいセンターを楽しみに待っててくださいね！

作成：釧路湿原自然保護官事務所 渡辺 欣正
 協力：温根内ビジターセンター



秋の湿原ハイキングを楽しもう

紅葉しない木のヒミツ

色とりどりの葉や実がみられるようになりましたね。って、おや…？湿原を歩いていくと、色づいていない森を発見！



ハンノキ

多くの草木は、冬の備えとして、葉から栄養（緑色）を回収したあとに、葉を落とします。この時に赤や黄色の成分が葉に取り残されることで紅葉しています。



ヤマブドウの紅葉



ハンノキの葉

一方、湿原で一番目立つ大きな木「ハンノキ」の仲間は、栄養を回収しないで緑色の葉をそのまま落とす、ちょっとズボラな性格。

その訳は、空気中のチッ素を吸収しやすい形に変えてくれる「根粒菌」を根っこ部分で飼っているから。つまり栄養のつまった葉をポイ捨てしても成長に支障ないのです。



ハンノキの種

1

ビジターセンター 通行止め

コースのご案内

外まわり 3km 約 60分

1 → 60 → 100

中まわり 2km 約 30分

1 → 44 → 125



迷ったら木道足もとの番号を CHECK!

カラフトダイオウ (樺太大黃)

スゲやヨシの間で紅葉中！

ヤマブドウ (山葡萄)

ジャムにするとおいしい野生のブドウ。でも実がなるのは10本に1本くらい？



ウメバチソウ (梅鉢草)

湿原を飾る最後の花。見納めですよ！



また 来年

ヒシクイ (菱喰)

和名はヒシを食べるからヒシクイ。英名は豆が好きなので"Bean goose"。食いしん坊なのは世界共通の認識？!



おかえりなさい

はるばるロシアから帰ってきた渡り鳥。運がいいとV字編隊で飛行する姿が見られますよ！

オオハクチョウ (大白鳥)

群れて飛ぶ姿はタンチョウにも劣らない美しさ！



60

ゴキツル (合器蔓)

熟した実が裂け目から2つにパカッと割れた姿は、まるでふた付きの器。



実物大！

かわいいけど持ち帰らないでね！

ガマ (蒲)

昔は「布団」を「蒲団」と書いていたのだとか。その由来は、ふわふわの種を羽毛のように使ったとも、やわらかい葉を編んで使ったとも言われています。



ハネナガキリギリス (羽長蠅斯)

童話では冬の備えをしないことで有名ですが、産卵して次の世代に命を渡したあと親は冬を越さずに死んでしまいます。足元に気を付けて歩いてください。



木道で産卵中

湿原展望台 北斗遺跡へ→

ツルウメモドキ (蔓梅擬)

リースの素材として人気。オレンジ色の実が目立ちます。



サルナシ (猿梨)

コクワとも呼びます。断面も味もあの果物に似てますね！



マユミ (真弓)

サムライが使っていた弓はしなる竹と丈夫なマユミを組み合わせられていました。



ツリバナ (吊花)



ぜんぶ見つけられましたか？
 かわいい秋の実が山側にはいっぱい！